

パッカー車から出火 ごみの中にライター

2014/12/05

5日午前9時20分ごろ、兵庫県の路上で、燃えないごみを収集していた市のパッカー車から出火、中のごみの一部を焼いた。約300メートル先の駐車場で男性作業員2人が消し止めた。市によると、焼けたごみの中から約20個の使い捨てライターが見つかった。ごみを圧縮する際に火花が出て、ライターから漏れたガスに引火したとみられる。また、焼けてなかったが、新品のスプレー缶も数本見つかったという。公民館など公共施設に使い捨てライターの回収箱を設けた昨年10月以降、市内でのパッカー車の火災は減少傾向だが、市環境第1課は「大事故につながる恐れがあり、ライターやスプレー缶をそのまま捨てるのは絶対にやめてほしい」と注意を呼び掛けている。

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

◆左折時は、死角を認識し、安全確認

◆右折時は、対向車だけでなく、横断歩行者にも注意

誤ってサイドブレーキ、トラックが急停車し横転

2014年12月5日(金)20時22分

仙台市の東北自動車道で8月、陸上自衛隊のトラックが横転し、乗っていた隊員22人が重軽傷を負った事故で、警察は5日、助手席にいた男性(36)を過失傷害の疑いで書類送検した。午後3時35分頃、運転席と助手席の間に置いてあったバッグを取り上げる際、バッグが当たってサイドブレーキを引き上げてしまい、車が急停車して横転、運転していた男性隊員(33)ら6人に骨折などの重傷、15人に軽傷を負わせた疑い。男性も顎などに軽いけがをした。県警によると、男性は男性隊員がたばこを吸うため、バッグからライターを取り出そうとした。「不注意でけがさせて申し訳ない」と話している。トラックは訓練後、戻る途中だった

凍結路面でスリップ事故多発

大型トラックと正面衝突、男性重体

2014年12月5日(金)13時40分

山梨県の国道でトラックとワゴン車が衝突する事故があり、ワゴン車の男性が意識不明の重体です。現場は朝から路面が凍結していて、事故が相次いでいました。警察によりますと、5日午前7時ごろ、ワゴン車が中央線をはみ出し、対向車線を走ってきた大型トラックと正面衝突しました。この事故で、ワゴン車を運転していた会社員の男性(33)が病院に搬送されましたが、意識不明の重体です。トラックを運転していた男性(39)にけがはありませんでした。事故が起きた国道は朝から路面が凍結していて、この他にも4件の事故が相次いでいました。警察は、ワゴン車が凍結した路面でスリップし、ハンドル操作が利かなくなった可能性が高い

車がスリップし12台がからむ玉突き事故に

2014年12月6日(土)0時17分

5日午後9時ごろ、山形市の県道で車がスリップし、12台がからむ玉突き事故が起きた。現場は下り坂で、事故当時、雪は降っていなかったが、気温は氷点下で、路面は凍結していた。

左側の店に入ろうと、トラックが巻き込み 自転車の男性死亡

[2014/12/4 12:10]

3日午後8時25分ごろ、静岡県で大型トラックに自転車をはねられ男性(66)が死亡した。事故があったのは、警察によると大型トラックが道路の左側にある店に入ろうとしたところ自転車を巻き込んだ。この事故で自転車に乗っていた男性(66)が胸などを強く打ち病院に運ばれたが、まもなく死亡した。また、警察は大型トラックを運転していた運転手の男性容疑者(57)を過失運転致死の疑いで現行犯逮捕した。